

しろくまだよい

- 第8号 -



— 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし —

編集 / 発行 2008. 11. 25

八代市環境課 TEL33-4114

みなさん、こんにちは。さ～冬本番！準備はできていますか？

さて今月は、「冬も省エネでお得生活を」と題して、この時期に家庭で手軽にできる省エネ対策についてお話しします。

冬は暖房で多くの燃料を使用する季節です。少しでもエネルギーを節約するために、簡単に実践できる省エネ対策を今日から始めてみませんか？

夏と冬の光熱費、どっちが高い？

夏と冬の光熱費を比較してみると、一般的に、冬の方が光熱費が高くなります。その理由は、暖房時の室温と外気温との差が夏よりも大きいことや、水温や気温が低いため、お風呂などのお湯を沸かすときなどに多くのエネルギーを必要とするためです。

これは、北国に行くほど顕著になる傾向にあります。

八代は、北国に比べると冬の気温も高く、逆に夏の気温が高いため、夏と冬の光熱費の差が小さくなりますが、それでも冬の光熱費が高くなる傾向にあります。

冬の暖房（電子カーペット編）

電子カーペットの下にマットなどを敷くと、床に逃げる熱が少なくなり、低い温度設定でも、十分な効果が得られます。

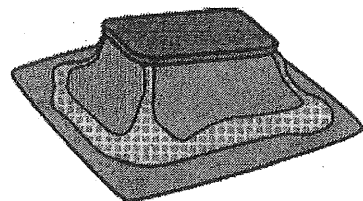
足元が暖かくなると体感温度も上昇するので、エアコンなどの設定温度が20℃以下でも快適に過ごせます。



冬の暖房（こたつ編）

掛け布団だけでなく、敷き布団や上掛けと一緒に使うと、省エネ効果がアップします。

温度調節ダイヤルの「強」と「中」では消費電力は約20～30%も違います。こまめに温度調節を行い、必要のないときは切りましょう。

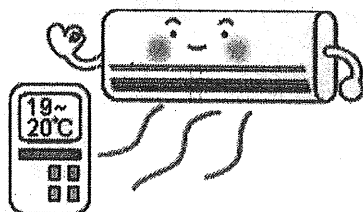


冬の暖房（エアコン編）

設定温度は19～20℃を目安に、部屋の温度をこまめに調整しましょう。

風向きに注意し、暖かい空気が循環するようにすれば、エアコンの設定温度が低めでも快適です。

また、室外機の前に風通しの邪魔になるような物を置かないようにしましょう。



裏面もみてね

寒さ・暑さは「窓」から浸入!

窓から冬の冷気や、夏の熱気が室内に入り込むことで、室温が大きく変わります。

そこで、注目したいのがカーテンやブラインドなどのアイテムです。今回は、省エネ効果をアップさせるちょっとしたコツをご紹介します。

●二重掛けにする

雨戸があるからと言って、レースだけにしている方も多いのでは?でも、カーテンは断熱効果をぐっと高めてくれます。特に冬場は二重掛け(三重ならなおグッド)がお勧めです!カーテンを複数掛けることで、窓ガラスの間に動かない空気の層が多くできて、断熱効果がとても高まるのです。

カーテンの生地によっても、外気の浸入率は変わります。織りのしっかりした目の詰まった厚手の生地を選ぶと断熱効果が高くなります。



●ネズミにごちゅう意を!

ネズミは、気温が下がる冬でも、暖かい家屋の中では、繁殖する恐れがあります。

ネズミがかじったことによって、家屋内の電線やケーブルなどが損傷し、最悪の場合には火災につながることもあります。また、感染症を引き起こすウイルスを媒介することもあります。

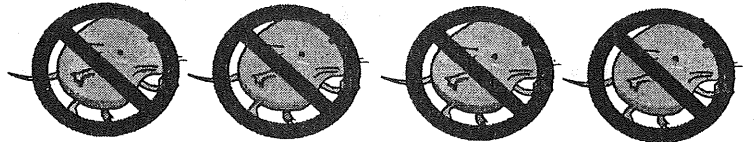
市では、12月から1月にかけて殺鼠剤を配布します。必要な方は、印鑑持参のうえ、本庁環境課・各支所市民福祉課(鏡支所管内は市民環境課)へお越しください。

●窓ガラスにも一工夫

カーテンだけでなく窓ガラスに一工夫すると、より断熱効果が増します。手軽なアイテムとしては、「断熱シート」があります。透明で目立たないシートもありますし、水貼りタイプなら剥がすのも簡単です。利用してみたいでしょうか?

●ブラインドは角度が重要!

ブラインドは、スラットの角度により光を反射し、熱の浸入を防いだり、光の調節(調光)が出来るのが特徴です。冬場は、日差しを部屋の中に届くように調節することで、太陽の光を有効に利用することが出来ます。場所や時間帯によってこまめに調節しましょう。



殺鼠剤名	ピラコン(1袋50g)
配布場所	本庁環境課・各支所市民福祉課 (鏡支所管内は市民環境課)
配布期間	平成20年12月8日(月) ~平成21年1月30日(金)まで
必要なもの	印鑑
配布数	各家庭5袋まで
問い合わせ先	本庁環境課 Tel.33-4114



来月は1月4日(日)が「やつしろ環境の日です!」

八代市では、毎月第1日曜日を『やつしろ環境の日』、『やつしろ健康の日』としています。地球が喜ぶ生活をおくること(CO₂ダイエット)は、私たちの体も喜ぶ生活(体重ダイエット)につながります。環境のこと、健康のことを考えた生活を楽しんでいきたいものですね……。